

# 2025年度 年次報告書



リンケージとは「つながっていること」を意味します

ごあいさつ

令和7年は、物価上昇など暮らしの変化を感じた一年でしたが、一方で身近な地域や人々のつながりの大切さを改めて実感する日々でもありました。

毎日の実践の積み重ねがリンケージを利用してくださっている方々の安心につながることを大切にしながら、活動を重ねてまいりました。

群馬県教育振興基本計画における「群馬県教育ビジョン」の重点政策の一つに、「多様性を尊重し、協働する力の育成」が掲げられています。こどもたちは（もちろん私たち大人も）価値観が多様化する共生社会に生きていますし、価値観はこれからますます多様化していく可能性があります。

さまざまな価値観を持つ他者とのかかわりの中で、新しい考えやアイデアに気づく学びもあれば、意見や考えが衝突した際にみんなが納得することの難しさを経験することもあります。

意見が衝突したときに、私たち大人はどのように問題を解決しているのだろうか。こどもたちは多数決で決めたり、影響力の強い人の意見がおおることを経験して大人になっていくのかもしれない。

しかし、共生社会では多数決の対話の方法だけではなく、合意形成の対話の方法が求められるのではないか。そんな思いのもと、この1年、合意形成とは何なのか、合意形成の話合いの進め方はどのようなものかを、さまざまな機会にワークを通して多くの方と一緒に学んできました。そのワークの中で、子どもたちが合意形成の対話の力を育むために「私たち大人は何ができるか」を皆で考える時間ももっとも充実していたことを思い出します。

チームの決定に全員が知恵を出し合い、自分の意見を述べ、意見を尊重してもらい、納得したら、そのチームはいずれ、より良い解決策を見出す豊かな力を秘めたチームと言えるかもしれません。

多くのクラスで、子どもたちと先生が豊かな解決力をもつチームとなることを祈りながら、リンケージのスタッフ一同、学びを続ける所存です。

皆さまのご支援とご協力をあおぎたく、ここに謹んでごあいさつ申し上げます。

理事長 石川京子

たくさんの「わかった」を経験し、自己肯定感をそだてる

19名

利用実数  
(児童発達支援)

287件

訪問実数  
(保育所等訪問支援)

■ 活動内容

園の集団生活でどうすごしていいか戸惑っているこども達が安心して集団生活に参加したり、お友だちとのやり取りがより広がっていけるように、発達支援を行いました。また「見る」「聞く」「参加する」「援助を申し出る」がより豊かになるよう、スタッフ間で話し合いながら、こども一人ひとりの「やってみたい」を大切にし、取り組んでまいりました。

上半期は個別での発達支援を行いました。こども一人ひとりの「わかる」の段階を太田ステージ評価を用いて、認知発達の凸凹に合わせて教材を用意しました。進めていくなかで、こどもの「わかる」ことを広げて、園での集団生活や小学校での学習の基礎となる力を積み重ねる支援を行いました。下半期の小集団での発達支援そらまめ学級では、上半期の個別でこども一人ひとりが身につけた力を、生かしながらミニ集団として活動のなかで「やってみよう」を目的に行ないました。そらまめ学級ならではの「他者との関わり」といった経験を積んでいくことができました。

カームダウンスペースをスタッフで意見をだしあいながら作り、増設したことで、こどもたち自身がおちつきたいときに使えるスペースとなりました。こどもたち自身からも、おちつける体験ができたとお話しがあり、好評なようです。



■ 次年度予定

引き続き、個別の発達支援クラスと小集団の発達支援クラスをベースに行ないます。こどもたちが毎日生活している幼稚園や保育園、こども園への訪問を継続し、ご家族や園の先生方と一緒に、こどもたちの得意を活かし、苦手をサポートしていきます。また来年度から子育てサポートdayを設け、保護者様、きょうだい児様とも関わりがひろがるよう発達支援に取り組んでまいります。

個を大切に、個に応じた支援を行う

75人

利用登録人数

2945人

延べ利用人数  
(2月末)

98.2 %

満足度  
(保護者様アンケート結果より)

■ 活動内容 (月～金)

今年度も発達支援ルームそらまめ2の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。そらまめでは、一人ひとりの気持ちや個性を大切にしながら、子どもたちが安心して過ごし、自分らしく成長していける環境づくりを大切にしています。子どもたちとの関わりを通して信頼関係を築き、「ここなら安心できる」「自分らしく過ごせる」と感じられる場所となることを目指して日々支援を行っています。活動の中では、自分の気持ちを言葉で伝えることが難しく、思いがうまく伝わらずに強い言葉や行動として表れてしまうこともあります。そのような場面では、静かな環境でゆっくりと話を聞く時間を設け、本人の気持ちに寄り添うことを大切にしています。「どうしたかったのかな」「次はどんな方法があるかな」と一緒に考えながら、その子にとって分かりやすい形で伝えることで、少しずつ自分の気持ちを整理したり、より良い行動の方法を見つけていけるよう支援しています。また、何が正しいかを一方的に伝えるのではなく、スタッフが丁寧に関わり続けることを大切にしながら、子どもたちのペースに合わせて、好ましい行動や人との関わり方についても少しずつ伝えていけるよう取り組んでいます。

2025年度もたくさんの出会いとお別れがありました。子どもたち一人ひとりとの出会い、そして共に過ごした時間は、私たちにとってかけがえのない大切なものです。これからも子どもたちが安心して過ごしながら自己肯定感を育ていけるよう支援を続けていきたいと考えています。引き続き、発達支援ルームそらまめ2をどうぞよろしくお願いいたします。

来年度の予定

来年度は、「自分で考えて行動できること」を大切なテーマとして支援を行っていきます。子どもたちがさまざまな経験を通して「自分にはこんなことができる」という気持ちを感じられるよう、一人ひとりのペースを大切にしながら成功体験を積み重ねていきたいと考えています。

■ 土曜日ソーシャルスキルクラブ

本年度のソーシャルスキルクラブでは、活動の幅がさらに広がり、子どもたちがさまざまな体験を通して成長する一年となりました。調理活動では、カレーや餃子など、これまでより少し手の込んだメニューにも挑戦しました。子どもたちは役割を分担しながら協力して料理を作り上げ、「今まで食べた中で一番おいしい」と笑顔で話す姿も見られ、活動の達成感を感じている様子が伝わってきました。外出活動では、イオンでの買い物体験やレジャー施設の利用、公共交通機関を使った移動の練習などを行い、日常生活に役立つ経験を積むことができました。自分で選び、行動する機会も増え、子どもたちの自信につながっているように感じられました。また、季節の行事も充実しており、夏にはミニ運動会、秋にはお月見制作など季節ならではの活動を楽しみました。どのイベントでも、子どもたちが生き生きと参加する姿がとても印象的でした。年度末には卒業式を行い、子どもたちは合唱を披露しました。一年間の成長を振り返りながら子どもたちの頼もしい姿に温かい気持ちになる時間となりました。

来年度も、子どもたちが安心して楽しく過ごしながらのびのびと成長できる場を大切にしていきたいと思っています。今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



就労準備性を高める支援と就労後の職場定着支援を提供

23人

利用実数

1736人

延べ利用者数

100%

今年度就労定着支援利用者の  
定着率

#### ■ 就労選択支援事業がスタート

2025年10月より就労選択支援事業が始まりました。リンケージも就労選択支援事業所の機能も持つようになり、お問い合わせをいただいたり、次年度に向けて特別支援学校の先生と相談をしたりすることが出てきました。障害のある方が就労に向けて進路を考える時、適切なアセスメントや連携が取れる事業所となれるよう、次年度は本格的に活動していきたいと考えています。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

#### ■ 作業トレーニングをブラッシュアップ

今年度は、作業トレーニングをブラッシュアップしました。トレーニング生の特性理解に必要なアセスメントをしっかりと取れるよう、作業をシンプルにわかりやすくしたり、種類を増やしたりしました。自分の苦手なものも得意なものも、まずやってみて、自分が仕事を選ぶときのヒントにしていこうと考え、取り組んでもらっています。見学に来てくれた際の作業説明がわかりやすく詳しくできるように工夫しました。より多くの方が自己理解を深めて適職を見つけていけるように引き続き努力していきたいと思えます。



#### ■ リンケージから次の進路へ～就職支援・定着支援～

今年度もたくさんのトレーニング生がそれぞれの進路に卒業していきました。一般企業・特例子会社等の企業への就職から、就労継続A型・B型事業所に進路を決める方もいました。今年度は特例子会社の方に来ていただいて企業説明会をおこなったり、トレーニング生複数人で企業見学会に行くなど、積極的に企業についてみんなで学ぶことができました。次年度も様々な企画を考えて、就労を目指す皆さんのお役に立てればと思っています。

福祉サービスのご利用や変更に関するお手伝い

277人

登録人数  
(令和8年3月 現在)

747件

計画等作成件数  
(サービス等利用計画および  
モニタリング報告書 作成件数)

## ■ 活動内容

今年度も、相談支援専門員および相談員の4名体制（吉原・山口・石田・内海）にて、皆さまからの福祉サービスの利用を中心としたご相談をお受けしました。日々の業務を滞りなく進めてこられたのは、利用者の皆さま、ご家族の皆さま、そして関係機関の皆さまの温かいご理解とご協力があったのことに感じております。あらためまして、こころより感謝申し上げます。

園や学校、職場、地域、家庭など、それぞれの生活の場面ではしばしば環境の変化が起こります。年度替わりではとくにだと思えます。先の見通しが立たないと不安が生じ、思いどおりにならないことが起こると悩みも生まれます。そうしたときに、わたしたち相談員は皆さまのお話を丁寧にお聞きし、ご本人にとってより望ましい生活を一緒に考えながら、必要な福祉サービスや地域資源につなぐお手伝いができればと考えています。

今後、園・学校・事業所など関係機関と連携しながら、ご本人を中心とした支援体制づくりに努めてまいります。

## ■ 次年度予定

次年度も引き続き、高崎地域において障害福祉に関わる相談業務の中心的な役割が担えるよう取り組んでまいります。地域の関連機関との連携・協働を大切にしながら、皆さまにとって身近で相談しやすい相談支援を目指していきたいと考えています。

また、相談員一人ひとりのスキル向上や相談支援体制の充実にも取り組み、より質の高い相談支援が提供できるよう努力してまいります。

誰もがお互いの違いを知り、  
自分らしく暮らしていけることを願って。

**68**件

講演会・研修会

**45**件園・学校・支援機関等  
へのコンサルティング、  
スーパーバイズ**1**市

市町村への専門家派遣

**■ 活動内容****1. 群馬県発達障害者地域支援マネジャー事業**

- ①群馬県内の市町村や障害福祉サービス事業所、園や学校の職員向けの発達障害に関する講演会
- ②発達障害のアセスメントや支援ツールの導入
- ③関係機関の連携や困難事例への対応

**2. 群馬県教育委員会専門家チーム委員**

- ①県立特別支援学校に配属されている専門アドバイザーからの依頼を受けて、園・学校へ直接訪問し、困難事例など教員等への相談、助言

**3. スーパーバイズ事業**

- ①県内10カ所の園に年に5回ほど訪問し、保育士や先生方へ特性のあるお子さんへの対応の助言やご家族との発達相談、職員研修

**4. 発達障害相談支援サポーター事業**

- ①高崎地域における発達障害者への相談支援

**5. 伊勢崎市こども発達支援センター事業**

- ①公認心理師、臨床心理士、言語聴覚士などこども発達支援センターでの発達相談、発達検査、園や学校コンサルティング事業に係る専門職を派遣

**6. 他講演会**

講演会テーマ:発達障害の理解と対応、子どもの育ちの土台、思春期の理解と対応、トラウマインフォームドケア、ゲーム依存、加害と被害から子どもを守るかかわり、こどもと体験する合意形成、ペアレントメンターとの協働等

**7. 他公職**

群馬県教育委員、群馬県青少年健全育成審議会委員、群馬県発達障害者支援地域協議会委員などの役割を通して、発達障害に関する啓蒙活動

**■ 今後の活動**

引き続き、講演会や研修会、園や学校へのスーパーバイズ、公職活動を通して、発達障がいの啓蒙活動に取り組みたいです。

発行日 2026年4月1日 第一版発行

発行元 NPO法人リンケージ  
群馬県高崎市江木町 979 - 3  
TEL : 027 - 345 - 7390  
FAX : 027 - 345 - 7391  
<http://www.npo-linkage.net/>